

静岡県への移住に関する調査

<調査結果>

【調査概要】

- 調査方法 静岡県内移住者・移住検討者に対するインターネット調査(メールによる告知・案内)
- 調査対象 静岡県内移住者・移住検討者(「静岡県移住相談センター」相談者・メールアドレス登録者)

- 回収数 166サンプル

	配信数	回答数	回収率
静岡県内移住者(*)	82人	41人	50.0%
静岡県内移住検討者(*)	639人	125人	19.6%
合計	721人	166人	23.0%

- 調査期間 2019年2月13日(水)～3月5日(火)

*調査案内時点での移住計画の状況

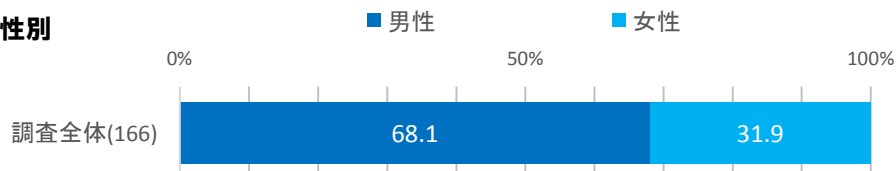
番号	質問	回答者
あなたご自身について		
F1	あなたの性別を教えてください。	全員
F2	あなたの年代を教えてください。	全員
F3	現在の世帯構成を教えてください。	全員
移住計画の現況について		
Q1	移住計画について、現在の状況を教えてください。	全員
Q2	移住先・移住予定先の静岡県内の市区町を教えてください。 (複数検討されている方は、可能性の高いものを1つだけ選んでください)	Q1=1or3 回答者 [県内移住者・決定者]
Q3	移住前の居住地(都道府県)を教えてください。 ※既に移住をした方は、移住前の居住地をお答えください。 ※まだ移住をしていない方は、現在の居住地をお答えください。	全員
移住前・移住後のご職業について		
Q4	移住前の、あなたの世帯で主たる収入を得ている方のご職業を教えてください。(本業としているものを1つだけお答えください) ※既に移住をした方は、移住前のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、現在のご職業をお答えください。	全員
Q4SQ	移住前の、あなたの世帯で主たる収入を得ている方の就業形態を教えてください。 ※既に移住をした方は、移住前のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、現在の就業形態をお答えください。	Q4=1-15 回答者 [有職者(学生・無職除く)]
Q5	移住後の、あなたの世帯で主たる収入を得ている方のご職業を教えてください。(本業としているものをお答えください) ※既に移住をした方は、移住後のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、移住後のご職業(希望)をお答えください。	全員
Q5SQ	移住後の、あなたの世帯で主たる収入を得ている方の就業形態を教えてください。 ※既に移住をした方は、移住後のことでお答えください。 ※移住検討中・移住をしていない方は、移住後のご就業形態(希望)をお答えください。	Q5=1-15 回答者 [有職者(学生・無職除く)]

番号	質問	回答者
静岡県への移住の検討について		
Q9	静岡県への移住は、下記のどちらのタイプに該当しますか。	全員
Q10	静岡県への移住に興味を持ったきっかけは、どのようなことですか。	全員
Q11	移住を検討し始めてから、静岡県への現地訪問には、何回行きましたか。	全員
Q12	静岡県への現地訪問をしたい(したかった)が、できていない・しなかった理由は何かですか。	Q11=5 回答者 [未訪問者]
Q13	静岡県への現地訪問の際に、どのようなサービスがあると便利だと思いますか。	Q11=1-5 回答者 [県内訪問者]
Q14	静岡県への移住を検討する上で、課題となっている(課題となっていた)ことは何かですか。	全員
Q15	静岡県に移住する場合、居住地を決定する際に重視する(重視した)条件のうち、上位3つを教えてください。	全員
Q16	どのような支援があると、静岡県への移住の可能性が高まりますか。	Q1=5-6 回答者 [移住検討・停滞者]
Q17	移住の検討において、困っていることはありますか。 (検討しているが進まない方は、進まない理由は何ですか。)	Q1=5-6 回答者 [移住検討・停滞者]
Q18	最終的に、移住することをやめたのはどのような理由でしたか。差し支えない範囲で結構ですのでお答えください。	Q1=7 回答者 [移住断念者]
Q19	静岡県以外に移住することを決めた理由をお書きください。	Q1=2or4 回答者 [県外移住者]
静岡県での移住生活について		
Q20	移住を検討し始めてから決定するまでに、どのくらいの期間を要しましたか。	Q1=1or3 回答者 [県内移住者・決定者]
Q21	静岡県への移住にあたり、利用した制度があれば、すべて教えてください。	Q1=1or3 回答者 [県内移住者・決定者]
Q23	静岡県へ移住して、家計収入・家計支出は変わりましたか。 (1)家計収入 (2)家計支出	Q1=1 回答者 [県内移住者]
Q24	家計支出について、移住前に比べてどのような部分に変化があったのか、差し支えない範囲で結構ですので、具体的にお書きください。(記載例:〇〇が▲万円くらい増えた など)	Q23(2)=1or3 回答者 [家計支出増減あり]
Q25	静岡県へ移住して、良かったことや、移住前のイメージ以上だったことはありますか。	Q1=1 回答者 [県内移住者]
Q26	静岡県へ移住して、困っていることや、移住前のイメージと違ったことはありますか。	Q1=1 回答者 [県内移住者]
Q27	今後、静岡県では、移住者の皆様に御協力いただき、より移住・定住しやすい環境づくりを行っていきたくと考えております。 ご参加・ご協力いただけるものがありましたら、教えてください。	Q1=1or3 回答者 [県内移住者・決定者]
Q28	今後、移住を考えている方へのアドバイスなどがあれば教えてください。	Q1=1or3 回答者 [県内移住者・決定者]

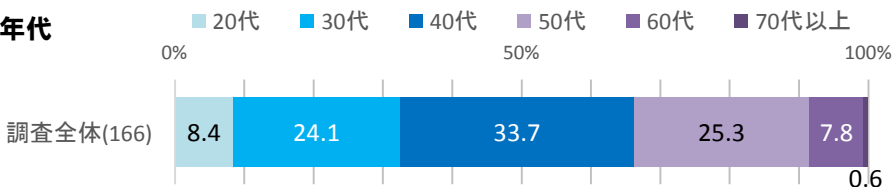
回答者属性

- 静岡県内への移住者・移住検討者の年代構成は、「40代」33.7%、「50代」25.3%、「30代」24.1%が中心。
- 移住の現況については、「静岡県へ移住済み」28.3%、「静岡県へ移住決定」8.4%で、「静岡県への移住者・決定者」は36.7%。移住先は「県東部」「県中部」が各3割となっている。その他「移住実現に向けて検討中」は28.3%、「検討しているが進まない」は33.1%だった。
- 移住前の居住地は、「東京都」「神奈川県」「埼玉県」「千葉県」を含む「関東」エリアが82.5%を占める。

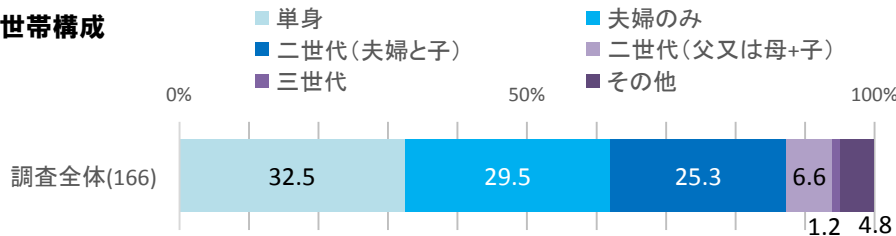
F1 性別



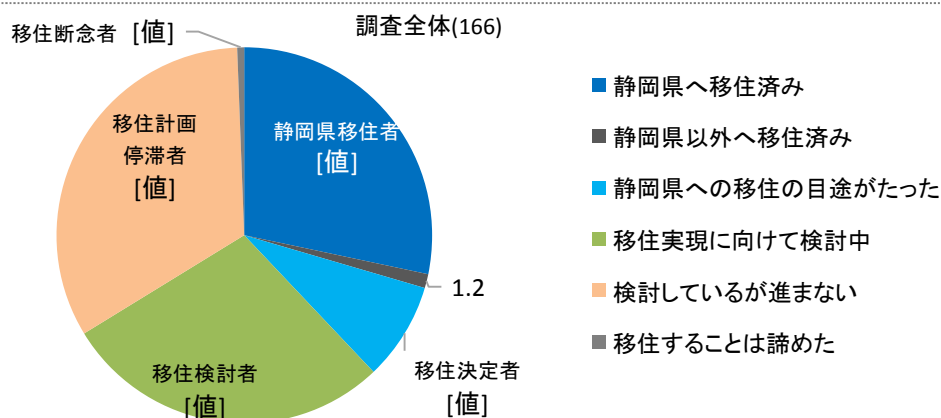
F2 年代



F3 世帯構成



Q1 移住計画の現状について

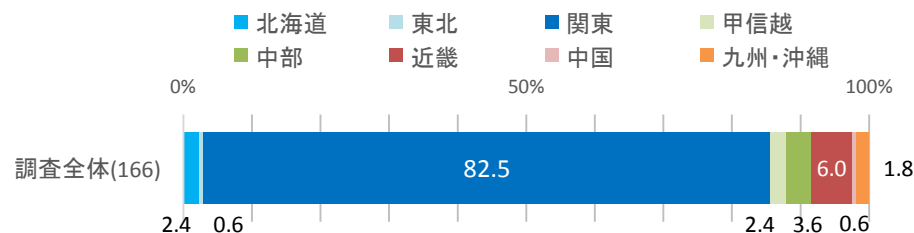


Q2 移住先(静岡県内市町)

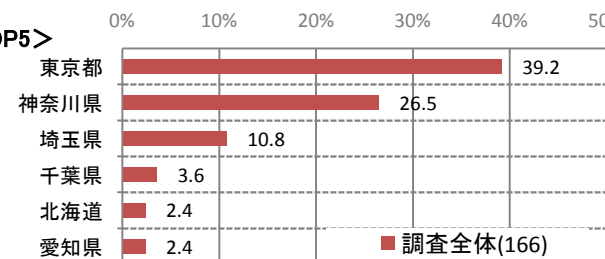


【伊豆】 14人	【東部】 19人	【中部】 18人	【西部】 10人
・伊東市 4	・沼津市 5	・静岡市葵区 4	・浜松市中区 3
・伊豆の国市 3	・三島市 4	・静岡市駿河区 3	・浜松市浜北区 2
・松崎町 3	・富士宮市 4	・静岡市清水区 1	・浜松市東区 1
・東伊豆町 2	・富士市 3	・牧之原市 4	・浜松市北区 1
・下田市 1	・御殿場市 1	・焼津市 2	・掛川市 1
・西伊豆町 1	・函南町 1	・川根本町 2	・菊川市 1
	・長泉町 1	・藤枝市 1	・御前崎市 1
		・島田市 1	

Q3 移住前の居住地(出身県)



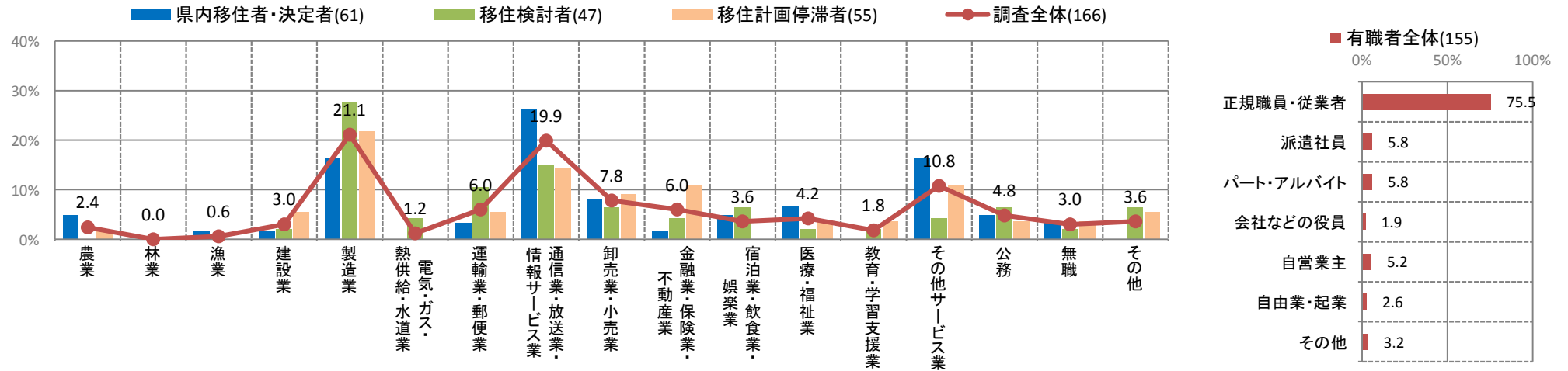
<出身地 TOP5>



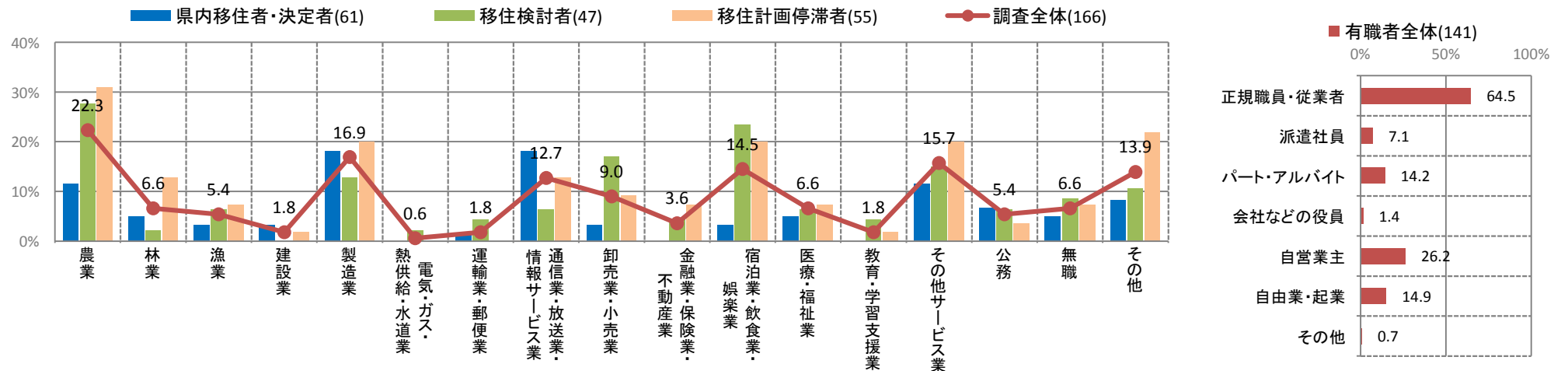
移居前・移住後の職業について

- 移住前の職業については、「製造業」21.1%、「通信業・放送業・情報サービス業」19.9%、「その他サービス業」10.8%が上位。「正規職員・従業員」は75.5%を占めた。移住者・決定者では「情報」「サービス業」従事者の割合が高く、移住検討者では「製造業」従事者の割合が高い。
- 移住後の職業については、「農業」22.3%、「製造業」16.9%、「その他サービス業」15.7%、「宿泊業・飲食業・娯楽業」14.5%が上位。「自営業主」26.2%、「自由業・起業」14.9%と高くなっている。移住検討者、移住計画停滞者では、移住後に「農業」「宿泊業・飲食業・娯楽業」を希望する割合が高い傾向にある。

Q4 移住前の職業・就業形態(世帯で主たる収入の方)



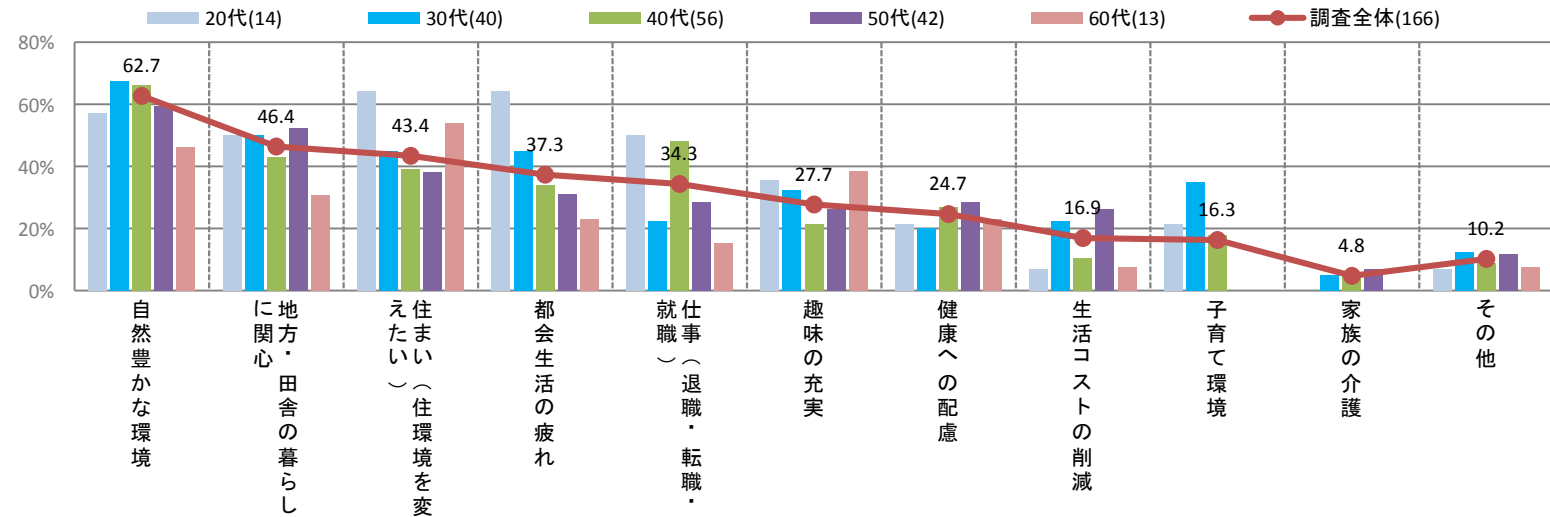
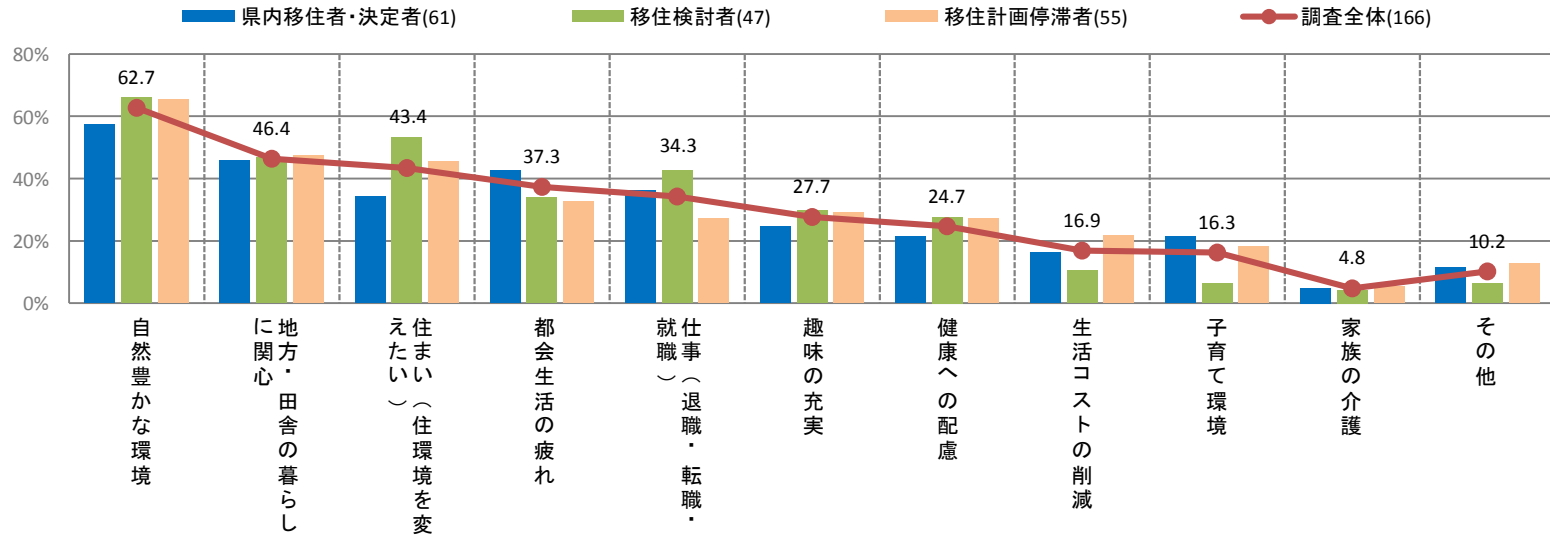
Q5 移住後の職業・就業形態(世帯で主たる収入の方)



移住の動機・情報収集について①

- 移住を考えた動機については、「自然豊かな環境」62.7%、「地方・田舎暮らしに関心」46.4%、「住まい(住環境を変えたい)」43.4%、「都会生活の疲れ」37.3%、「仕事(退職・転職・就職)」34.3%が上位となっている。
- 年代別にみると、「自然豊かな環境」「地方・田舎暮らしに関心」は20～50代の幅広い世代で高く、「都会生活への疲れ」は若年世代ほど高い割合となっている。その他、20代では「住まい」「仕事」、30代では「自然豊かな環境」「子育て環境」、40代では「仕事」、50代では「健康への配慮」、60代では「住まい」「趣味の充実」が高いのが特徴的。

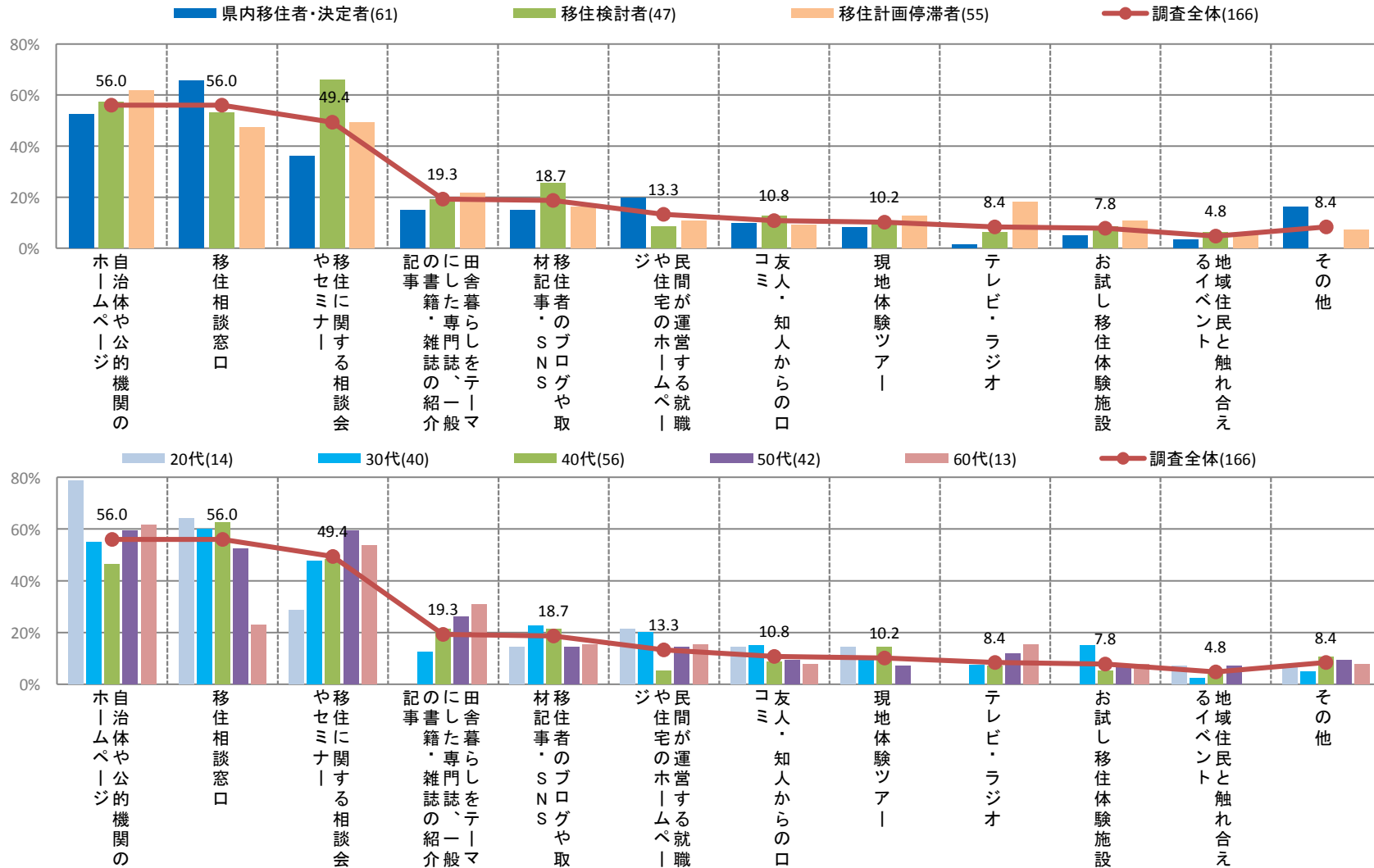
Q6 移住を考えた動機



移住の動機・情報収集について②

- 移住先を検討する際の情報入手先については、「自治体や公的機関のホームページ」56.0%、「移住相談窓口」56.0%、「移住に関する相談会やセミナー」49.4%が上位。移住者・決定者では「移住相談窓口」、移住検討者では「相談会やセミナー」の割合が高い傾向にある。

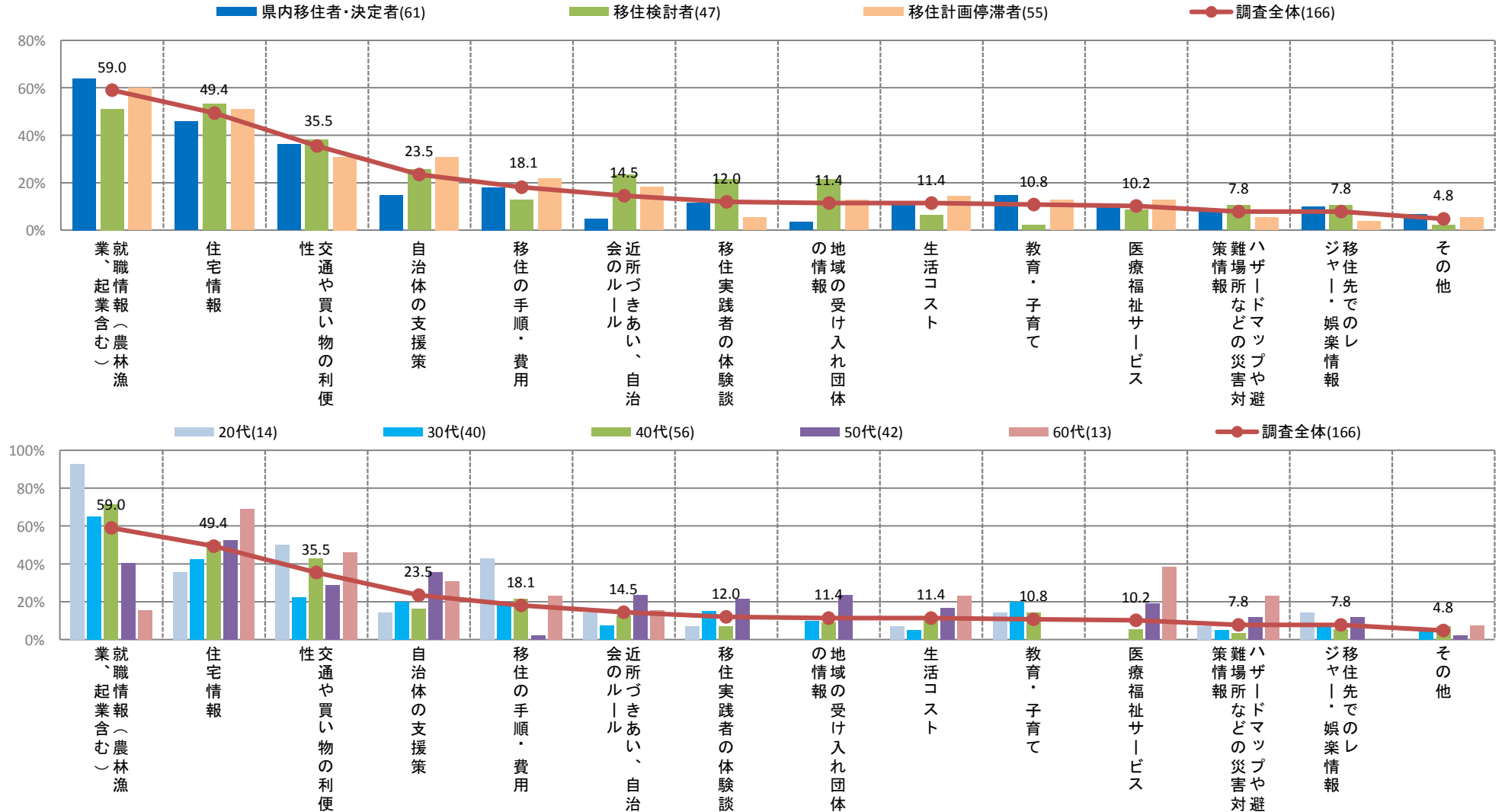
Q7 移住先を検討する際の情報入手先



移住の動機・情報収集について③

- 移住先を検討する際に重視した情報については、「就職情報」59.0%、「住宅情報」49.4%、「交通や買い物の利便性」35.5%、「自治体の支援策」23.5%が上位。「自治体の支援策」「近所づきあい・自治会のルール」「地域の受け入れ団体」は、移住検討者、計画停滞者で高い割合となっている。
- 年代別にみると、若年層ほど「仕事」、年配層ほど「住宅情報」を重視する傾向が見られる。

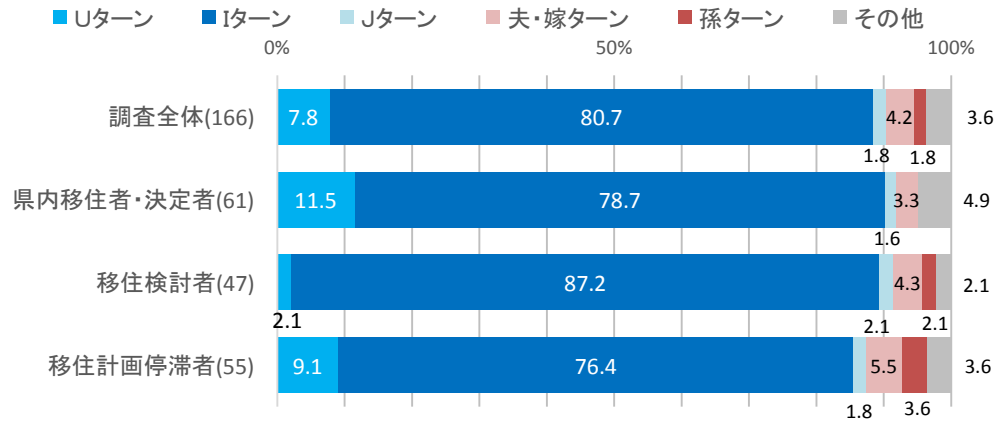
Q8 移住先を検討する際に重視した情報



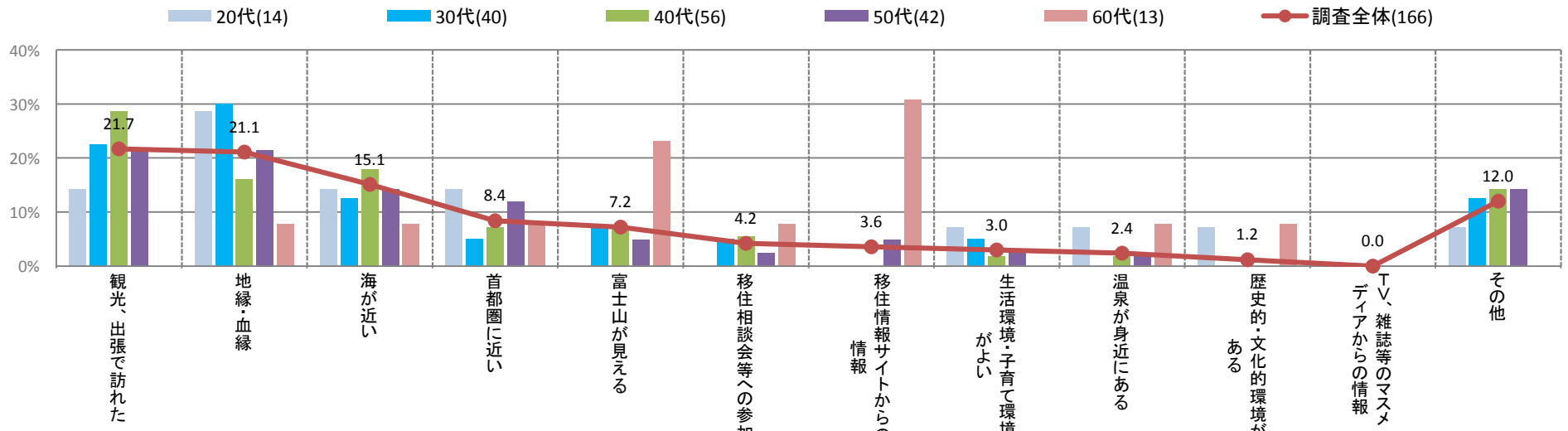
静岡県への移住の検討について①

- 静岡県への移住のタイプは、「Iターン」が80.7%と圧倒的な割合となった。
- 静岡県への移住に興味を持ったきっかけについては、「観光、出張で訪れた」21.7%、「地縁・血縁」21.1%、「海が近い」15.1%が上位。
年代別にみると、20代、30代では「地縁・血縁」、40代では「観光、出張で訪れた」「海が近い」、60代では「移住情報サイトからの情報」「富士山が見える」が高いのが特徴的。

Q9 静岡県への移住のタイプ



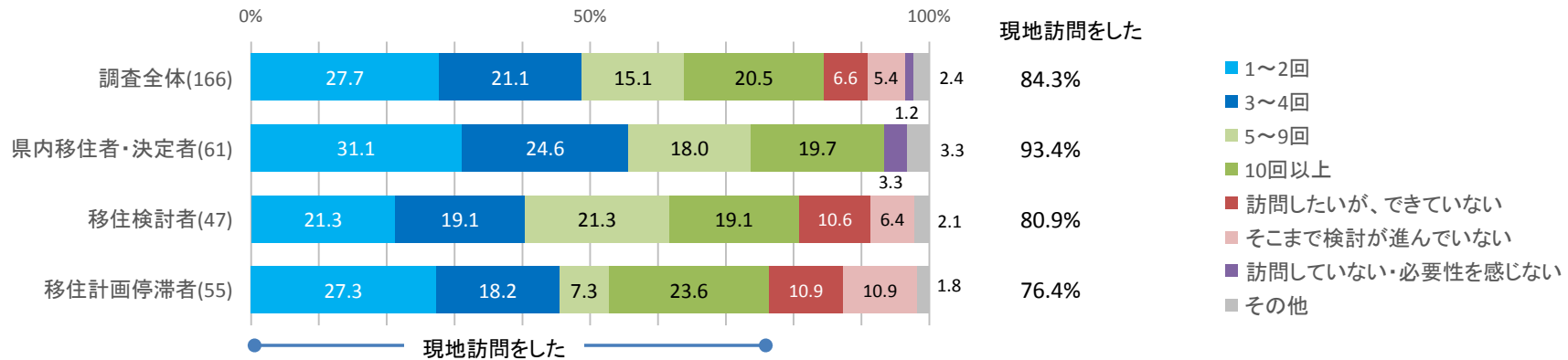
Q10 静岡県への移住に興味を持ったきっかけ



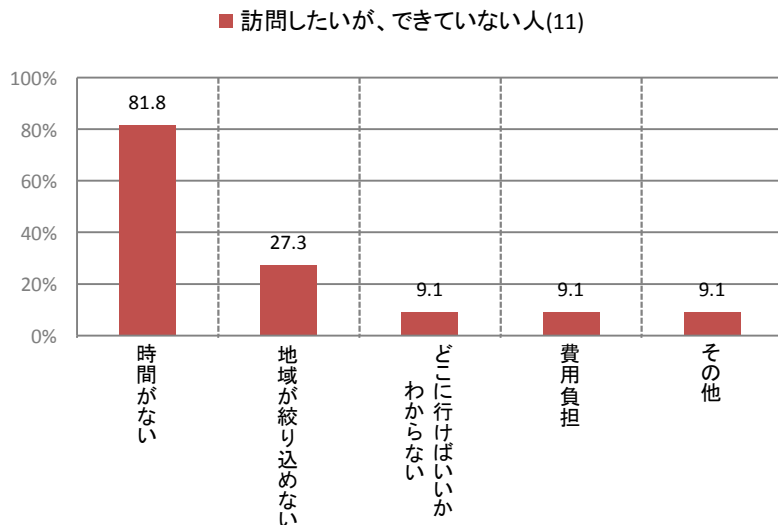
静岡県への移住の検討について②

- 静岡県への現地訪問の回数については、「1～2回」27.7%、「3～4回」21.1%、「5～9回」15.1%、「10回以上」20.5%で、合計現地訪問をした人は84.3%を占めた。
- 現地訪問ができなかった理由については、「時間がない」が81.8%で圧倒的、次いで「地域が絞り込めない」が27.3%となっている。
- 現地訪問の際にあると便利なサービスについては、「土日でも対応可能な相談窓口」47.0%、「先輩移住者によるアドバイス」42.4%、「広域現地案内」40.4%が上位。移住検討者・決定者では「地元住民による現地案内」、移住検討者では「広域現地案内」が高いのも特徴である。

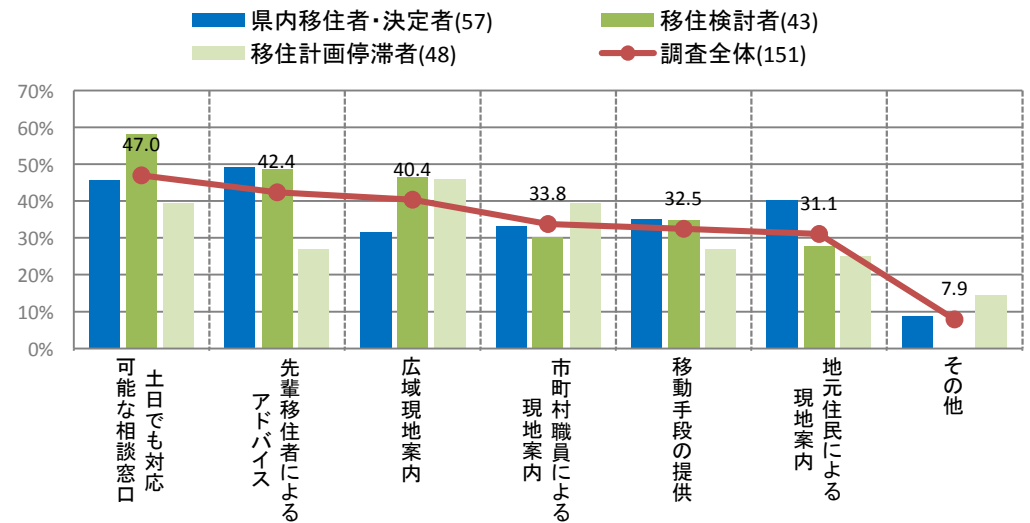
Q11 静岡県への現地訪問回数



Q12 静岡県への現地訪問ができなかった理由



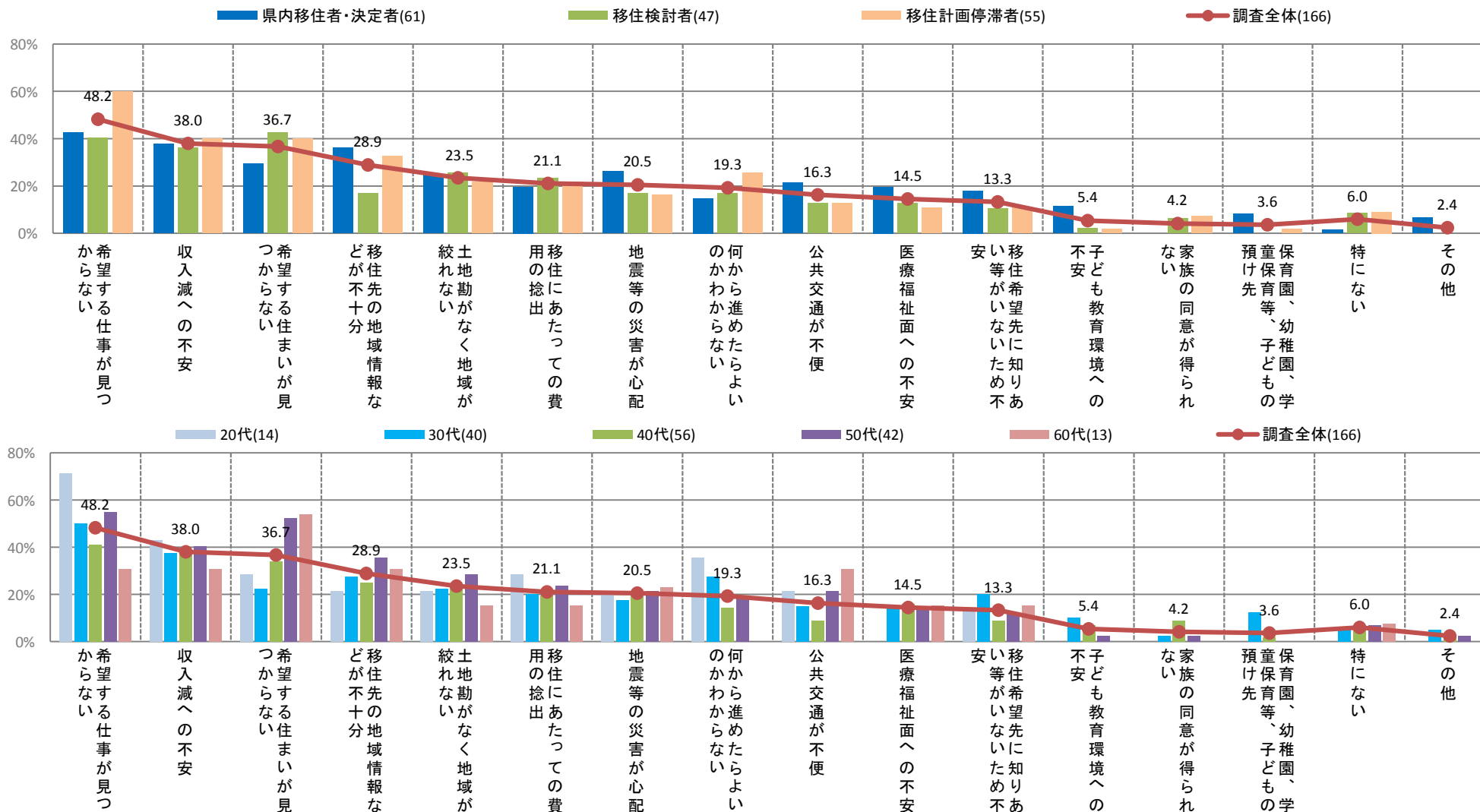
Q13 静岡県の現地訪問の際にあると便利なサービス（※現地訪問者のみ回答）



静岡県への移住の検討について③

- 静岡県への移住を検討する上での課題については、「希望する仕事が見つからない」48.2%、「収入減への不安」38.0%、「希望する住まいが見つからない」36.7%が上位。移住計画停滞者では「希望する仕事が見つからない」が60.0%を占める。
- 年代別にみると、20代、30代、50代で「希望する仕事が見つからない」、50代、60代で「希望する住まいが見つからない」が高い傾向となっている。その他、20代では「何から進めたらよいかかわからない」35.7%、60代では「公共交通が不便」30.8%が高いのも特徴的である。

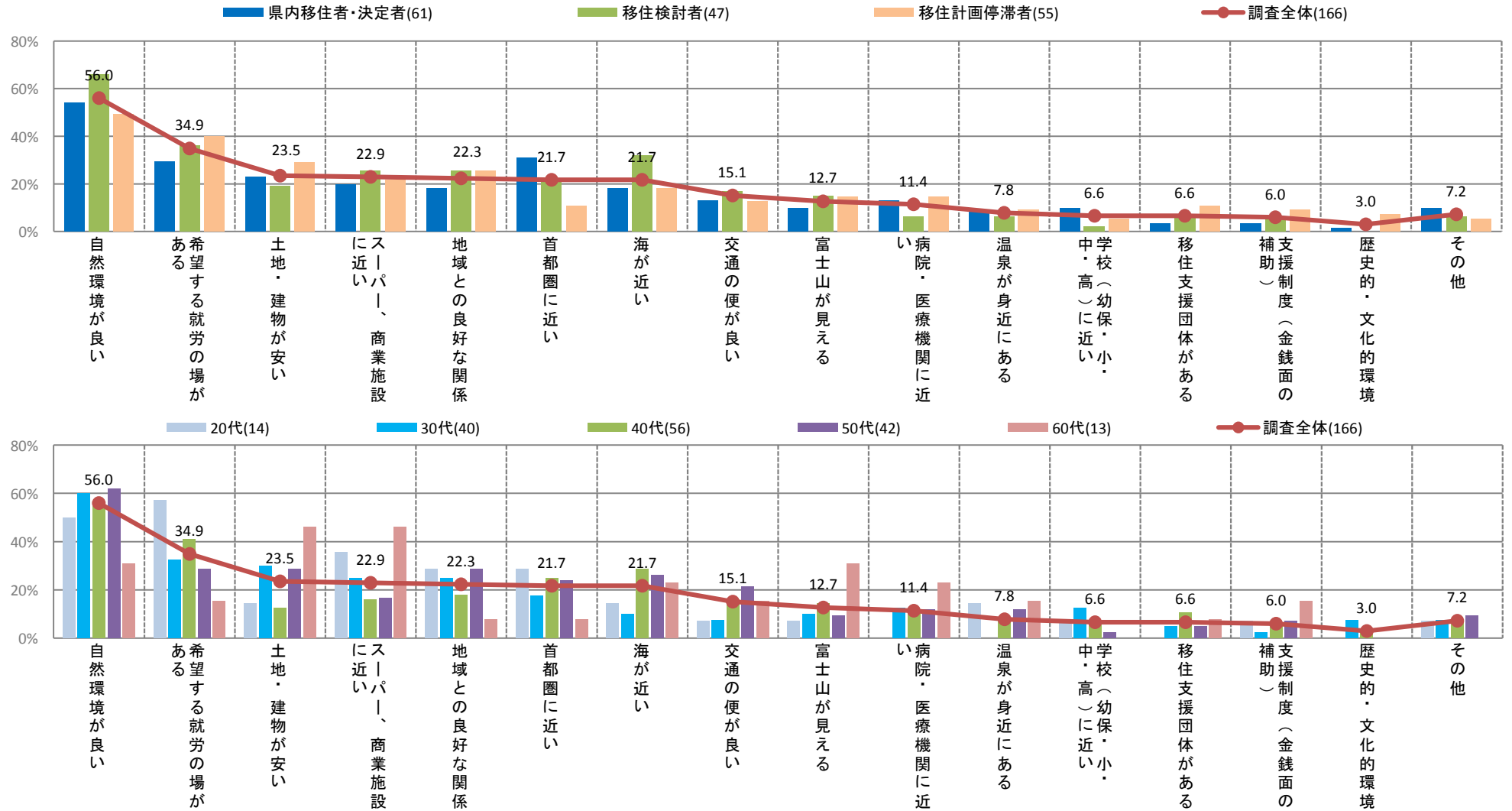
Q14 静岡県への移住を検討する上での課題



静岡県への移住の検討について④

- 静岡県へ移住する場合、居住地決定の際に重視する条件については、「自然環境がよい」56.0%、「希望する就労の場がある」34.9%、「土地・建物が安い」23.5%、「スーパー、商業施設に近い」22.9%、「地域との良好な関係」22.3%、「首都圏に近い」21.7%、「海に近い」21.7%が上位。

Q15 静岡県へ移住する場合、居住地決定の際に重視する条件

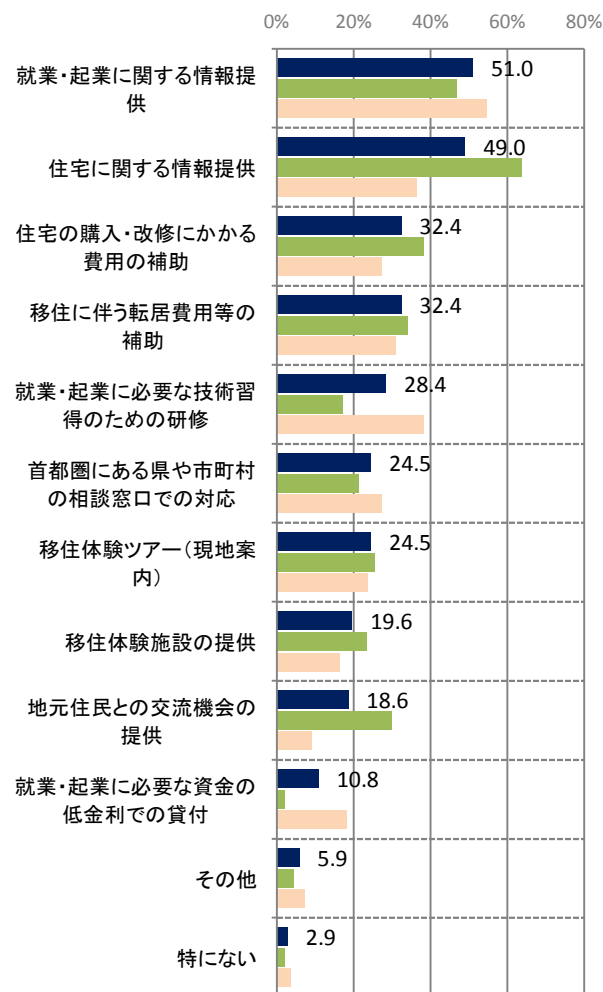


移住検討者について【移住検討者・移住計画停滞者のみ】

- 移住検討者・計画停滞者が求める支援策については、「就業・起業に関する情報提供」51.0%、「住宅に関する情報提供」49.0%、「住宅の購入・改修に係る費用の補助」32.4%、「移住に伴う転居費用等の補助」32.4%が上位となり、「仕事」「住まい」「資金の補助」に関する要望が上位を占めた。移住検討者では「住まいに関する情報提供」、計画停滞者では「就業・起業に関する情報提供」が高い割合となっている。

Q16 求める支援策(※移住の可能性が高まる)

■ 移住検討者・計画停滞者(102) ■ 移住検討者(47) ■ 移住計画停滞者(55)



Q17 移住検討において、困っていること／進まない理由(※抜粋)

【仕事・収入の不安、資金不足について】 39件

- 一定収入の確保が難しい。(移住検討者／男40代)
- 現時点では希望就農への技術修得が定員超のため、他での修得を模索中。(移住検討者／男40代)
- 移住希望先の就労に関する情報が少ない。(移住検討者／男50代)
- 希望している職種に合致するもの、金額的な合致がなかなか進まない。(移住計画停滞者／女40代)
- 移住の希望はあるが、移住先を選定できず、50代で、どんな仕事ができるか不安。地方で単身の住まいはどんなところがあるのか。イメージが具体的ににならない。(移住計画停滞者／女50代)
- 起業しようと思っていますが、先日相談に行った時、あまりいい反応がなく、難しいことなのか、と不安になりました。(移住計画停滞者／女50代)

【住宅の確保について】 14件

- 修善寺駅近辺により賃貸物件が少ない。家賃の支出増加が心配。(移住検討者／男20代)
- 物件探しやリフォーム業者探し。(移住検討者／女40代)
- 地域を知るために仮住まいできる移住体験住宅があると安心できると思います。(移住検討者／女50代)

【時間がない】 7件

- 現在の仕事が忙しく、なかなか検討・現地訪問の時間がとれない。(移住検討者／男40代)

【遠隔地で気軽に行けない】 5件

- 遠いので、休暇を利用して現地へ行くが、宿泊料金が高いと何度も行けない、自治体も休みで現地情報が得にくい。(移住検討者／女50代)

【家族の同意】 4件

【移住者の生の声を聞きたい】 2件

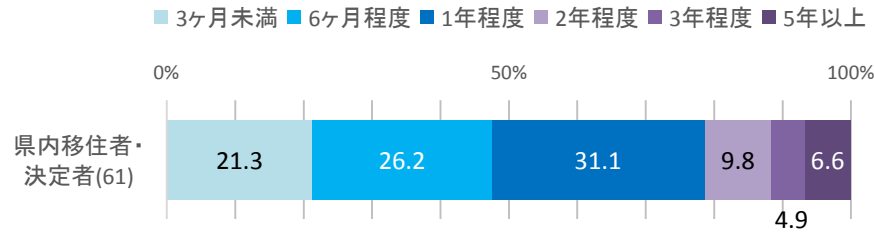
【その他】 34件

- 経験職種や仕事内容で求人内容を検索し応募をしているが、書類選考で何週間も待たされお祈りメールが送信されるのは堪える。あと、応募書類で確認できることを現地に呼んでもう一度根ほり葉ほり確認するのは構わないが、徹頭徹尾そんな経験は君にはないと面接で言われたり、趣味の充実を目的に転職・移住をするのはばかっているといった対応はなしをされるとへこみます。Uターンや移住先に親戚縁者がいないと最初からお断りといった対応をされることもあり、あまりUターンの人を受け入れる気質がないと感じた。(移住停滞者／男30代)

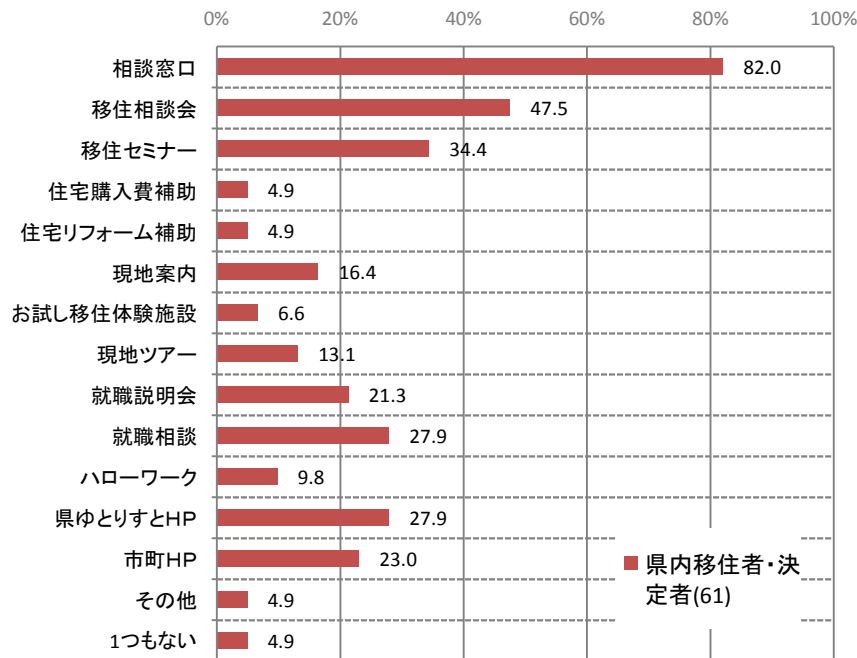
静岡県での移住生活について①【県内移住者者・移住決定者のみ】

- 移住の検討から決定までに要した期間については、「1年程度」が31.1%と最も高く、「1年以内」に決定している割合は78.6%となっている。
- 移住にあたって利用した制度については、「相談窓口」82.0%、「移住相談会」47.5%、「移住セミナー」34.4%が上位。
- 移住後の家計収入の変化については、「減った」との回答が70.2%を占めた。一方、家計支出が「減った」との回答も48.9%を占める。両者をクロスさせると、移住前より「悪化」は36.2%に留まり、「変わらない」が48.9%、「良化」が14.9%となっている。

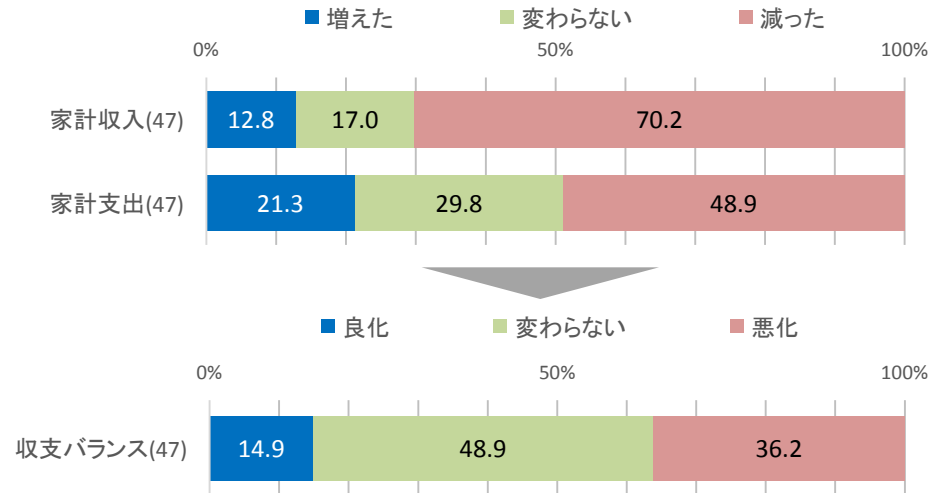
Q20 移住の検討から決定までに要した期間



Q21 静岡県への移住にあたって利用した制度



Q23 移住後の生活費の変化(※県内移住者のみ)



※家計収支の内訳 (単位: 人)

		家計支出			
		全体	増えた	変わらない	減った
家計収入	全体	47	10	14	23
	増えた	6	2	1	3
	変わらない	8	1	4	3
	減った	33	7	9	17

Q22 移住にあたって、よかった制度、利用したかったもの（※抜粋）

【移住支援センター】12件

- ・ 移住支援センターへ伺ったのは良かったです。移住後の移住者交流会等で、人脈がだいぶ増えたのと、移住支援センターの方々との出会いも、現在の生活のプラスになっている為です。(男40代/静岡市駿河区)
- ・ 交通会館の支援センターはすごくお世話になりました。移住して同じ仕事についてた人を紹介してくれたり、メールでイベントや説明会の情報をいただいたりしました。(男30代/島田市)
- ・ UIターン就職相談センターで県内に関する詳細な就職相談ができたのがよかったです。(女30代/浜松市中区)

【移住先の自治体担当者】8件

- ・ 職員による現地案内の際、市のことのみならず市役所の募集の情報を聞くことができたので良かった。(男20代/牧之原市)
- ・ 移住の担当の方に興味のある地域の職員さんを紹介してもらえ、そこから街歩きや移住後の生活の相談をすることができてよかった。(女30代/静岡市葵区)

【地元の人や移住者の話を聞く機会・移住後の交流会】6件

- ・ 民間の移住ヘルパーの方がいて、メールや電話で相談ができると思います。できれば先輩移住者の方がいいと思います。(男40代/富士宮市)

【金銭的支援】5件

- ・ 移住支援とはいうが、必要経費に対する金銭的な支援はないような気がする。移るのは個人の責任かもしれないが、数カ月でもいいから多少のケアがあったほうが安心して移住できる気がする。その期間をトライアルとして考えてもいいかもしれない。(男30代/浜松市中区)
- ・ 引越し代補助。50代でも利用できる住宅補助。(女50代/三島市)

【お試し住宅(移住体験施設)】3件

【問い合わせ先がわからない人への情報発信】2件

- ・ 何の制度があるのかわからない。あっても量が少なくあまり利用できる制度がない。(男20代/伊東市)

【その他】8件

- ・ 仕事の休日に、相談窓口が欲しい。若年層にだけ、お助け制度があり、シニアには何もないのはおかしな制度です。問い合わせをしましたが、シニアには冷たかった。静岡を好きで移住を希望するのに、行政は窓口が狭い。(女60代/富士宮市)

Q24 家計支出の変化について（※抜粋）

【収支バランス:良化】6件

- ・ 家賃は5万円くらい安くなった。移住前は車を持っていなかったため、車の維持費が新たな支出となった。食費に関しては、外食をする機会が減った事と、野菜が安いので支出が減りました。おおよそ2万円くらいは節約ができています。(男30代/御前崎市/収入→支出↓)
- ・ 住宅ローンがなくなった分が減り、新幹線通勤の分の交通費が増えました。差し引き9万円/月程度生活コストが下がりました。(男50代/函南町/収入→支出↓)
- ・ 近場に娯楽施設やレストランが無いので交際費が少し減ったが、車のガソリン代が一万円弱増えた。(女30代/川根本町/収入↑支出↓)

【収支バランス:変わらない】17件

- ・ 仕事柄、交替勤務になったので収入は増えました。また転職先の企業の規模も大きくなったので、そういった面でも収入は増えたかと思えます。賃貸の家賃は前より高くなりました。作り、間取りを比べても確実に相場は高くなりました。(男30代/御殿場市/収入↑支出↑)
- ・ 家を購入したので家賃と比べて1/10となった。光熱費が2倍増。車も1人1台となり維持費とガソリン代も合わせると3倍に増えた。食費が外食やコンビニ買いが減ったので3万円減った。(女30代/静岡市葵区/収入↓支出↓)
- ・ 無駄遣いがなくなった。東京で勤務していたときは、居酒屋やファミレス、カフェに立ち寄ることが多くて家計に余裕が作れなかった。(女30代/浜松市中区/収入↓支出↓)
- ・ 収入が減ったので外食が3~4万円減った。(男30代/島田市/収入↓支出↓)

【収支バランス:悪化】9件

- ・ 現時点では、東京と静岡に2つ生活拠点があるので、不動産にかかる費用が倍増したこと、交通費が増えた。収入は東京勤務のため変わらず。(女40代/三島市/収入→支出↑)
- ・ 農家で独立したばかりなので、設備投資に支出が多くありました。(男40代/富士宮市/収入↓支出↑)
- ・ 競争が少ないせいか、物価が思っていたほど安くはない。食費:月3万円→月5万円以上。地元の食材が意識しないと手に入れづらく、仕入れようとすると、そのルートを掴むための時間的なコストや、また入手するための金銭コストがかかる。かけなければ…とも思うが、せっかく移住してきたのだから楽しみたい。車が必須になったため、今までとは違った箇所にお金をかけるようになった。(男30代/浜松市中区/収入↓支出↑)

Q25 よかったこと・イメージ以上だったこと（※抜粋）

【自然環境がよい】13件

- 豊かな自然の恵みに触れ、穏やかな暮らしを得た。都会で生活している子供たちが遊びに来るたび、癒されている。(男40代／沼津市)
- 想像以上にいろんなところから富士山がキレイに見えるところ。(男30代／静岡市清水区)
- 自宅近所で蛍が出現すると聞いて、東京では味わえない自然に巡り合えた。神奈川県秦野市出身なので自然の中で育ったので原点回帰となった。富士市は製紙工場からの臭いが良くないと聞いていたが、そこまで気にする程でもなかった。(男40代／富士市)

【人との交流・気質がよい】8件

- 地域の人たちがとても親切。畑をしていると、お菓子やお弁当を差し入れてくれたり、台風の時に農機を工場に入れさせてくれたり、とても感謝しています。(男40代／富士宮市)
- 富士山や箱根などの山が、毎日眺められること。(女50代／三島市)
- 人が優しく起業しやすい。(男30代／松崎町)

【気候がよい】4件

- 雪がほとんど降らないので冬は過ごしやすい。(男30代／牧之原市)

【食べ物がおいしい】3件

【趣味を楽しめる】3件

【その他】8件

- 良い意味でも悪い意味でも、都会との違いを知る事ができた。(男40代／静岡市駿河区)

Q28 移住者に向けたアドバイス（※抜粋）

【現地に行くこと・現地を知ること】16件

- 地元の話聞き出す事が大事。地元の話は当たり前すぎる情報、住んでみていろいろと集りや委員会などが多いので。(女30代／静岡市葵区)
- 現地の人々(ショップ等でも可)と話してみてください。車のマナー状況、周辺地域の情報収集。(男40代／藤枝市)
- 公共交通(自分が車の運転が出来なくなった事をよく考えたほうが良い)、ゴミ出し等地域のルールをよく理解すること。(男30代／御殿場市)
- 実際に現地へ訪れること。ネットの情報も非常に便利で活用してほしいのですが、時間を作っても絶対に現地へは足を運んで体感してほしい。また、活用出来る制度、サービスは最大限に利用してほしいです。その後、後輩移住希望の方へ恩返しという形で色々協力していくことが静岡県を盛り上げていくと思っています。(男40代／静岡市駿河区)
- 静岡市に限って言えば、都会の様なセカセカ感無く生活するには良い場所だと思いますが、その反面、都心付近と比較し、色々なところ(仕事の進捗、自動車の運転等)や、不便なところ(行政の対応含む)は多くあります。(男40代／静岡市駿河区)
- 直接、現地に出向くことが大切だと思います。移住ツアー等の制度を使い、直接現地に足を運ぶことをおすすめします。(男30代／御前崎市)

Q26 困っていること・イメージと違ったこと（※抜粋）

【交通関係】12件

- 公共交通機関のサービスが行き届いていない。観光地なのに、バス利用の際、1000円以上が両替できないこと、交通系ICカードが使えないこと。(女40代／伊東市)
- 道路状況が非常に悪く、徒歩や自転車にはとても恐怖感がある。バスの便も少なく、車無しの生活が難しいと思った。(女40代／三島市)
- 私が移住した御前崎市だけかもしれませんが、市民の運転が荒かったです。(男30代／御前崎市)

【物価が高い】8件

- 静岡駅周辺の地価が異様に高いせいなのか、飲食店の値段がクオリティーに見合わず高過ぎる。(男40代／静岡市駿河区)
- 賃金は都市部より低い、物価はさほど変わらない。(男50代／焼津市)

【仕事・収入が少ない】4件

【ゴミ・衛生面】4件

【買い物環境】3件

- おいしい店が少ない。地元の食材などが簡単に手に入ると思っていたがそんなこともない(カツオ…)。(男30代／浜松市中区)

【その他】11件

- 自治会費や、場所によっては祭りで数万円の徴収があることを知ってさすがに…とは思いました。田舎ならではのかなと。自分の地元はもっと田舎でしたがさすがにそこまではありませんでした。(男30代／御殿場市)

【何をしたいのかをよく考える】7件

- 自分たちがどんな生活をしたいのか、掘り下げてから情報を集めることをお勧めします。各移住先の担当者は「自分たちがいいところ！」を推してくると思います。が、あくまで自分たちの生活とのフィット&ギャップを大切にすることで、移住してからの苦労が減り、楽しさが倍増すると思います。(男30代／浜松市中区)
- 実際に生活すると、今まで見えてなかったことがよくわかり、良い面だけでなく悪い面が次第に出てくる。いきなり移住するより、1～2年は賃貸などで週末移住とかをしてみて、本当に自分の希望していたとおりがどうか、考える時間を持つことがいい。(女40代／三島市)

【資金・収入変動の備え】3件

- 「都会に住む事務系職のサラリーマン世帯」だとしたら、都会に戻って生活が立て直せるだけの貯金を作ってから移住しましょう。移住したければ、まず「在宅である程度収入が得られる」状況を創り出しましょう。「環境の良さ」と「買い物や交通の便利さ+病院の選択肢」はトレードオフ関係にあります。自分の体力や健康状態の見直しを立てたうえで、それに沿って移住先を選びましょう。(男50代／函南町)

【その他】9件

- 若年層には、手厚い制度が多い。移住前の市は、医療福祉もシニアにも充実しています。終の棲家に静岡県を選ぶ人もいます。シニアにも、窓口を広げて下さい。(女60代／富士宮市)